



大学の知見を活かす

3/21

国東市・大分県・東京理科大学との包括連携協定式

国東市と大分県、東京理科大学は、人材育成や宇宙ビジネスなどの産業振興などに取り組む包括連携協定を締結しました。

大分県、国東市の次世代を支える人材の育成に、また宇宙をはじめとする科学技術を通じた産業振興や地域課題の解消などに東京理科大学の有する技術や知見が活かされます。



大分県・国東市・東京理科大学による
包括連携協定締結式

地域に貢献していく

3/24

志成学園・福祉優秀校受賞

志成学園の関係者が市役所を訪れ、福祉優秀校・大分合同新聞賞を受賞したことを報告しました。志成学園では、地域の協力のもと、統合前の取り組みに工夫を加えながら活動しており、海岸清掃や高齢者体験などを実施しています。中園将太郎さん（8年）は「これからも地域に貢献していきたい」と話していました。



「災害時における地域支援のための協力に関する協定」
及び「地域安全に関する協定」締結式

大分ケーブルテレコムと協力体制を強化

3/26

国東市と大分ケーブルテレコムとの協定締結式

国東市と大分ケーブルテレコムが「災害時における地域支援のための協力に関する協定」および「地域安全に関する協定」を締結しました。大分ケーブルテレコム株式会社代表取締役社長の荒木節夫さんは「国東市とさらに協力体制を強化し、市民の安全安心を守るために全力を尽くしたい」と話していました。

全国表彰おめでとうございます

3/26

全国麦作共励会受賞報告

株式会社河野農産（安岐町中園）の関係者が市役所を訪れ、全国麦作共励会において、全国農業協同組合中央会会長賞（農家の部）を受賞したことを報告しました。河野昭久代表取締役（左から2番目）は「条件が悪い中でも、いい麦ができた。それを評価してもらえてうれしい」と話していました。



「災害時における地域支援のための協力に関する協定」
及び「地域安全に関する協定」締結式



日頃の成果を発表

3/15

国見町文化芸能発表会

国見みんなかんで国見文化協会と国見公民大学による国見町文化芸能発表会が開催されました。舞台発表では、ふれあいコーラスや高砂会日舞教室、国見歌舞伎保存会など8つの団体が歌や舞踊などで日頃の成果を発表しました。発表する姿を一目見ようと、多くの方々が会場に足を運びました。



今年もユーモラス満載

3/20

諸田山御田植祭

安岐町明治の諸田山神社で「御田植祭（県指定無形民俗文化財）」が行われました。約200年にわたり諸田地区で受け継がれる伝統行事で五穀豊穡、子孫繁栄を祈念して毎年春分の日開催されています。多くの方が見守る中、白装束に化粧をした男性が田植えの作業をユーモラスに演じました。

大切に食べたい

3/13

志成学園・もちつき交流会

志成学園で5年生31名が秀溪園、健やか会、武溪の会の皆さんと一緒にもちつき交流会を行いました。志成学園では、統合する前の活動を引き継いでおり、もちつき交流会は今回が初めての活動となりました。幸松ひまりさんは「臼と杵でたたくのは大変だった。田植えから作ったお米なので大切に食べたい」と話していました。

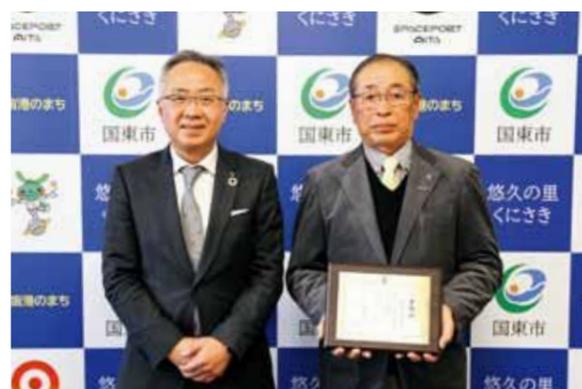


野球界発展のため活動を継続

3/17

全日本軟式野球連盟功労者表彰受賞報告

国東市軟式野球連盟の都留喜多男さん（国見町中）が市役所を訪れ、公益財団法人全日本軟式野球連盟功労者表彰を同連盟名誉総裁の憲仁親王妃久子様から受賞したことを報告しました。都留さんは「国東市の野球人口が減少している。野球界発展のためこれからも活動していきたい」と話していました。



「災害時における地域支援のための協力に関する協定」
及び「地域安全に関する協定」締結式